

【特別支援学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: ほぼ達成できている
B: ほぼ達成できている
C: ほぼ達成できている
D: ほぼ達成できている

1 前年度 評価結果の概要
前年度は1項目中A評価が3項目、B評価が3項目、C評価が5項目で評価項目によって差が見られた。Cの評価項目について改善を図っていく必要がある。
2 学校教育目標
「たくましく自立し、積極的に社会に参加する人間の育成」
3 本年度の重点目標
① 学習指導要領へ対応した授業づくりと授業改善を図る。
② カリキュラムマネジメントを推進し、教育課程を検討する。
③ 職員の意識改革や学校の業務改善等を行い、働き方改革を推進する。

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1) 共通評価項目
評価項目: 学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 地域支援, 業務改善・教職員の働き方改革の推進
重点取組: 児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援による確かな学力の定着, 児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な授業が行われている, 児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動
中間評価: 進捗度(評価), 進捗状況と見通し
最終評価: 達成度(評価), 実施結果
学校関係者評価: 評価, 意見や発言

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目: ○学校経営方針, ○教職員の専門性の向上
重点取組内容: ○「本校に入学させてよかった」と回答した保護者の平均が9.5以上
成果指標(数値目標): ○「子どもが保護者の気持ちを受け止めて、子どもが今日の学び・学校生活に満足し、明日の学び・学校生活を期待する授業づくりを行う。」
具体的取組: 「子どもが保護者の気持ちを受け止めて、子どもが今日の学び・学校生活に満足し、明日の学び・学校生活を期待する授業づくりを行う。」
中間評価: 進捗度(評価), 進捗状況と見通し
最終評価: 達成度(評価), 実施結果
学校関係者評価: 評価, 意見や発言

●…共通項目 ○…学校独自 ○…意見を求める教育

5 総合評価・次年度への展望
・11項目中A評価が7項目、B評価が5項目、C評価が0項目で昨年度より改善した。課題を整理して次年度の改善策を検討していく必要がある。
・「教育目標に即した教育の実践」については「本校に入学させてよかった」と回答した保護者の評価は3.8と高かった。今後も教育目標の達成を目指し、保護者から信頼される学校づくりを行っていく。
・「業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減」の評価は3.6と目標を達成することができた。次年度は行事等の精選や業務の効率化を推進していく。
・「いじめの早期発見、早期対応体制の充実」については、いじめ事例を確実に報告したり、職員研修を実施したりしていじめへの理解が深まった。学校全体でいじめの未然防止と早期発見に努めていく。
・「カリキュラムマネジメントによる教育課程の推進」については、年間5回のカリキュラム委員会を実施し、小中が一貫した学びについて検討した。次年度の教育課程に反映していく。
・「授業づくりを取り組んだ。このことは学習指導要領を意識した授業づくりにつながることができている。今後も授業づくりと学習評価の充実を図っていく。」
・「児童生徒が、豊かな心を身に付ける教育活動」については、めざす子ども像の達成を目指して道徳性を高める教育活動を行ってきた。小・中学校の道徳の資料を活用したり、動画や写真を利用した授業づくりを行った。
・「学習指導要領に対応した学習活動の充実」については、評価の観点一覧表を活用した授業づくりを行った。学習指導要領の各教科の内容をおさえることを意識できた。次年度は、本年度と同じ授業づくりを行うとともに、単元計画や評価計画について充実を図っていく。
・「感染症予防策の徹底」については、オミクロン株による感染が限内でも増えたことで保護者の不安も大きくなった。今後も引き続き感染対策を行い、情報発信を行っていく。
・「児童生徒が夢や希望を持ち、将来の自立と社会参加に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動」については、全学年でキャリアパスポート(ポートフォリオ)の活用を図ってきたが、学部によって評価が異なった。項目によって記入が難しい内容もあるので子どもに応じたパスポートに改善を図っていく必要がある。
・「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」については、アンケートの結果からは児童生徒と保護者に相違が見られた。今後は家庭との連携を強化していく。
・「児童生徒、保護者のニーズに応じた進路指導の充実と社会生活を送るための力をつける教育の推進」については、進路パンフレットの改訂や進路だよりにより情報提供を行った。職員には、日々の授業の中で身に付けた力が将来の社会生活を送る力になるという意識を定着させていく。
・「効果的な地域支援に向けた特別支援学校のセンター的機能の充実」については、支援部だよりを年3回発行しことで地域の学校からの期待は高く、今後も充実を図っていく。